給食でつながる生産者と子どもたち
地元生産者と給食を会食

町学校給食に食材を供給している地元生産者と小学校児童らによる給食の会食が1月29日、睦合小学校で行われました。この事業は、全国学校給食週間（毎年1月24日から30日）を機会に、桑折町学校給食会の会員である地元生産者と児童らが一緒に給食を食べながら交流を深め、給食の重要性や感謝の思いを育む目的で行われました。当日は、野菜農家である佐藤春雄さんと佐藤勉さん、JAふくしま未来桑折営農センター職員が同校3・4年生クラスを訪問。生産者らは「野菜は、自分が凍らないようにたくさん糖分を蓄える冬が一番甘くなる。野菜の甘みを感じてみて」と紹介するなど、畑仕事や地元の話題などを話しながら交流を深めました。

▲野菜作りの話をはじめ、地元の話題、好きな食べ物の話などを通して生産者らと児童らは交流を深めました

泣き虫鬼もいじわる鬼も「鬼は外」
醸芳幼稚園・こおり青空こども園で豆まき

一年の無病息災と心の成長を願い、醸芳幼稚園とこおり青空こども園で、節分の日の豆まきが2月3日に行われました。醸芳幼稚園では、はじめに、年少・年中・年長組ごとに分かれて、節分や鬼にちなんだ歌を発表。その後、ファミリーティーチャーのみなさんが、豆まきの由来を描いた紙芝居を披露しました。物語を楽しんだあと、鬼たちが現れると、悲鳴とともに「鬼は外！」と大きな声で豆を投げつける園児たち。同日、こおり青空こども園にも鬼が現れ、園児らは豆に見立てた紙の玉を鬼に向かって一生懸命に投げつけていました。泣いて笑った豆まき会。園舎や心の中にいた鬼たちは、子どもたちの元気な声に早々と退散していきました。

火事から身を守るために
女性消防隊による防火教室

町女性消防隊による防火教室が1月16日、醸芳幼稚園で開かれました。当日は、女性消防隊員6人が講師を務め、「火事で煙がもくもくしているときの逃げ方」をテーマに、適切な逃げ方をクイズを交えながら披露しました。園児たちも一緒に参加し、煙が充満した場面を想定した安全な避難の仕方や火災警報器の設置場所、警告音についてみんなで確認しました。園児らは、隊員の動きを真剣に見つめ、火の怖さを想像しながら、いざというときの行動について学びました。

▲火事の時の逃げ方について楽しく学びました

地域で見守る力を育てる
認知症サポーター養成講座

健康福祉課と地域包括支援センターによる「認知症サポーター養成講座」が1月23日、睦合小学校で行われました。

参加した6年生は、認知症の症状について学び、「こんな時はどんなふうに声をかける？」など、認知症の人への接し方をグループで話し合い、理解を深めました。講座の最後には、サポーターの証であるオレンジリングやサポーターカードが配られ、「キッズサポーター」となった児童たち。「認知症の人にどんな接し方をしたらいいのか分かった」「これからは認知症の人の立場に立って考えていきたい」などの感想が聞かれました。

▲実演を通して、認知症の人への接し方をみんなで考えました

広　告